

『一心千里』

走って見れば、見えてくる

永田 隆一



第91回

シュレインの異性をカモフレ、添い寝だけをしてくれる異性をソフレというのだそうです。多様性の世界は広がりが増しているのです。

《認知の柔軟性》

コグニティブ・フレキシビリティという言葉を筆者は最近よく考えま

ら、(Pan Out Water Level Package) が急成長しています。組織があってもしかり。その会社が好きで入社したのに、直属の上司が嫌いで退社するケースが増えて、上司を評価する360度評価制度や、社内公募制度もポピュラーになってきておりま

に考えます。某有名女子大学が、見た目がおっさんでも、心が女性なら入学を許可すると決定しました。他の女子学生の気持ち pensando、筆者はうなだれてしまっています。

の爆発危険性を十分に知っております。なぜ水素なのか。その答えは、日本の自動車産業においての強みがエンジンという自負であります。エンジンの代わりにモーターを使用するEVではなく、エンジンが必要なFCVへ引く張ろつとしているように思えてなりません。

大阪ミナミ、場末の小料理屋。「カモフレ、ソフレ、キスフレ、ご存知ですか」キスフレはキスだけの友達でしょうか。

と付き合ったことがない」と答えた20代は、男性53%、女性34%。そして、

コグニティブ・フレキシビリティ

価値観の多様化と認識の柔軟性

そして、資料をもとに女性将さんがある生命保険会社の結婚に関する調査結果を説明してくれました。

対象は25〜29歳。数年内に結婚したいと答えたのは、男性38%、女性59%。そして、総務省の国政調査でこの年代の未婚率は、男性72%、女性60%。明らかに若者の結婚離れが進んでいるのであります。

繁に情報の交換をすることであつ、それは違つ。それは「やだな」と、判断を下してしまつことが増加したとの分析です。「結婚は判断力の欠如」と書いた文豪がいました。が、筆者は納得してしまいました。

す。働き方も在宅勤務、フリーランス、週末起業など、多様性が広がっております。

「人は、統計に支配されるものではない」。サンテグジュベリの言葉でありますが、こうした情報から、若者は恋愛や結婚から距離を置いてしまつてあります。

《ならぬものならぬ》しかし、多様性を受け入れることを履き違えた組織も存在します。筆者は「ならぬものならぬ」と、一切迎合できないことも増えてきているよう

も、ガソリン車の次がハイブリッド車、その先に来るのは電気自動車(EV)です。燃料電池自動車(FCV)は700気圧のタンクを2つ搭載しています。

まじりに、これまで異性

は、映画や行楽地へ行く時だけ恋人をカモフレ

仲間が集まります。そして、その輪がいくつも生まれ、大きくなるでしょう。偽者の多様化はサバイブできないと思ひます。筆者の師匠の言葉。「自らの信じることを生きろ」。御意。

まじりに、これまで異性

は、映画や行楽地へ行く時だけ恋人をカモフレ

仲間が集まります。そして、その輪がいくつも生まれ、大きくなるでしょう。偽者の多様化はサバイブできないと思ひます。筆者の師匠の言葉。「自らの信じることを生きろ」。御意。

まじりに、これまで異性

は、映画や行楽地へ行く時だけ恋人をカモフレ

仲間が集まります。そして、その輪がいくつも生まれ、大きくなるでしょう。偽者の多様化はサバイブできないと思ひます。筆者の師匠の言葉。「自らの信じることを生きろ」。御意。